

～2022年9月、国連の障がい者権利委員会で採択された日本政府に対する勧告（いわゆる通信簿）。日本に強く求められたのは『分離された特別な場所＝福祉作業所、入所施設やグループホーム、養護学校などの特別教育、成年後見制度等の解消・廃止』だった！？～

「えーっ!?…なんで???’ 8/5の学習会、きょうされん理事・後藤強さんの講義に超衝撃を受けました。『社会は障がい者の人権やニーズに応える努力を放棄し続け、分離された特別な場所に任せてきたのだ』と。『いやいや、そうだとしても、特別な場（制度）によって権利が守られている現実があるじゃん。しかもその特別な場自体が日本はまだ十分に整備されてないし…』この権利委員会の勧告に対する反応はやはり様々なようです。私も頭の中を考えがぐるぐる回りました。私にとって、ここでなかまと共に働き日々の色々を共有するのは当たり前前の日常。その私たちの日常は分離された特別な場所なのだろうか。障がいがあっても無くても、分けられた場所じゃなく一緒に働いたり学んだり暮らしたり…ができる国や社会が実際にあるのだろうか。『インクルーシブな社会の実現』とは？そういえば、アルプス福祉会は一貫して‘地域の中で地域と共に’がテーマだな。ぐるぐる回る考えと、会場で受けた衝撃がまだ自分の中に残っています。（堀江）

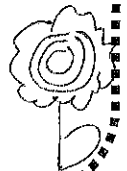
すまいる班

今週のすまいる班では福祉の文化祭にむけた作品づくりをしました。大きな模造紙にローラーや筆を使い自由に線や形を描きました。こもれびのなかまと合同で作品づくりを行い、なかま同士の交流も楽しみなかま取りくむ事ができました。すまいるのなかまの笑顔や興味が作品に色づける姿がとても印象的でした。

こもれび班

今週のこもれび班では福祉の文化祭の作品づくりがありました。みなさん絵の具を手につけてパタパタと、ローラーで色をつたせたり、色をぬりぬり塗りを楽しんでいました。

(絵：西沢エミ、横内)



ねくすと

おは！おは！暑い日が続きますね。夏風邪も最近流行っているので体調に気を付けて暑夏を乗り切りましょう。そんなわけでねくすとでは、今週スカイハイで“水浴び”をしたりお水のエロップを使ってソムに“飴やせ”リーを作りました。